

福井市との包括連携事業

総合ボランティアセンター整備事業

仁愛女子短期大学 教授 田中 洋一

福井市男女参画・市民協働推進室総合ボランティアセンター開設準備室の依頼により、ボランティア及び福井市ボランティアネットに関する座談会を3回（7月に2回、9月に1回）開催しました。そのうち2回は田中ゼミの学生とボランティアに関する座談会を生活情報専攻2回生の科目「専門演習」中に行いました。2015年度の田中ゼミは、11名3グループからなり、全員がボランティアに関わっています。1回目は7月1日（水）に「ボランティアに対するイメージ」というテーマのもと、ボランティアの経験等についてワールドカフェ方式で話し合いをしました。2回目は9月30日（水）に「大学ボランティアサークル間の連携事業」というテーマのもと、話し合いをしました。もう1回は7月14日（火）の放課後に、田中が顧問を務めるパソコンボランティアサークル（以下、パソボラと記す）の学生と「福井市ボランティアネット」に関する座談会を行いました。この日は、Webサイトのユーザビリティ（使いやすさ）やイメージ等について話し合いをしました。

これらの座談会の対話から、ハピリンフェスにおける総合ボランティアセンターブースのお手伝いをする

ことになりました。10月4日（日）10時～17時、福井駅前電車通りで開催されたハピリンフェスですが、田中ゼミから7名の学生が参加し、「動き出す！？塗り絵アプリ体験」「親子で作ろう、バルーンアート講習会」のブースを担当しました。また、仁短ボランティア活動紹介として、「仁短パソボラ」「福井市殿下地区PR隊」のポスター展示を行いました。

ゼミ生が担当したブースは、子どもたちで終日賑わい、用意した何百個ものバルーンが足らなくなるほどでした。子どもたちは、自分が塗った絵がタブレットの中で動き回るAR（Augmented Reality：拡張現実）技術に驚いていたそうです。

学生たちも、これらの活動を通して、多くのことを学んだようです。



福井市ボランティアネット (<https://www.fukui-volunteer.net/>)